

.....

日本放送協会 理事会議事録

(2023年 5月 9日開催分)

2023年 6月 2日(金)公表

.....

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2023年 5月 9日(火) 午前10時00分～10時25分

<出席者>

稲葉会長、井上副会長、小池専務理事、竹村専務理事、
林専務理事、山名専務理事、根本理事、中嶋理事、
安保理事、熊埜御堂理事、山内理事、寺田理事・技師長
大草監査委員

<場所>

放送センター役員会議室

<議事>

稲葉会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 2022年度部局目標評価

議事経過

1 審議事項

(1) 2022年度部局目標評価

(経営企画局)

2022年度の部局目標の年間達成状況の評価について、審議をお願いします。部局目標については、各部局の担当役員が作成した評価案を、理事会審議を経て、会長が決定することとしています。なお、部局の評価は部局長個人の評価に反映されます。

2022年度は試行の初年度として、各部局の成果を「視聴者起点」で測るための、客観的な「アウトカム指標」を基本とする形に刷新しました。これによって各部局が達成度や課題が見える化し、今後の具体的な打ち手を検討するというPDCAのサイクルがより実行しやすくなりました。

試行の2年目にあたる2023年度については、2022年度の検証を踏まえ、「改革の検証と発展」の取り組みや、次期中期経営計画の策定と密接に連携し、各部局の公共的役割をより適切に評価する指標の開発などのトライアルを進め、NHK全体における経営マネジメントの強化に貢献をしていきます。

(会長) 2022年度部局目標評価を踏まえ、各部局がPDCAをよりよくまわしていくために、2023年度の部局目標の在り方について、役員のみなさんからご意見をいただきたいです。

(竹村専務理事) 前提として、極めて重要かつ客観的な「アウトカム指標」を基本とする形に刷新したことはとても重要だと思います。試行の2年目の目標管理の運用については、PDCAのPの設計に、「アウトカム指標」を有効的に組み込むよう工夫をしてください。

(井上副会長) コンテンツ部門でいうと、量的指標、質的指標ともに、数字という形では表れにくいですが、NHKが使命として果たさなければならない役割を担う部局もあります。今後、目標管理を改善させていくにあたっては、指標の

達成度合いだけでなく、NHKが本来果たさなくてはならないことがより適切に評価に結びつく設計にしていたいただきたいと思います。

(会 長) 公共的側面をもつNHKの活動は、必ずしも数字だけでは評価できないと思います。2023年度の部局目標については、NHKが本来果たすべき役割に則り、各部局がそれを果たしているかを役員全員で共有して評価する、そうしたプロセスを実現するための一つの手段であるべきだと思います。

(経営企画局) 各部局が自信を持ってNHKが本来やらなければならないことに取り組み、それを適切に評価できる目標管理となるよう改善していきます。

(会 長) ほかにご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2023年 5月30日

会 長 稲 葉 延 雄